

全日本軟式野球連盟 競技運営に関する注意事項

(ア) 各大会共通（競技者必携抜粋）

1. 監督会議で説明または決められた事項は、必ずチーム全員に徹底すること。
2. シートロックは、5分間とする。ただし、大会運営上シートロックを行わずに試合を開始することもある。この場合は、攻守決定時に通知する。
 - (1)補助員は、ヘルメットを着用すること。
 - (2)後攻チームより行う。
 - (3)ノッカーも必ず選手と同様の服装とし、捕手は、プロテクター、レガース、捕手用ヘルメット、ファウルカップを必ず着用すること。
3. 次の試合のバッテリーは、攻守決定後、競技場内のブルペンを使用することができる。
4. ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用は禁止するが、電子スコア記録用としては1台の機器の使用を認める。また、メガホンはベンチ内に限り一個の使用を認める。
5. 球場内には、素振り用の鉄パイプ及びバットリングは持ち込みを禁止する。
6. 組み合わせ表にある試合開始時刻はあくまでも予定であり、第2試合以降のチームは、試合開始予定時刻の60分前までに集合し、大会本部へ到着を届けること。
7. 試合開始予定時刻になっても会場に到着しないチームは、原則として棄権とみなす。
8. ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番を含む選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格）各1名とする。
（学童部、少年部は別に定める。）
9. 捕手は、試合中及びウォーミングアップ時から必ず連盟検定のマスク、ヘルメット、レガード、プロテクター及びファウルカップを着用すること。
10. 打者、走者及びベースコーチは、連盟検定のヘルメットを必ず着用すること。

(イ) 少年部・学童部（競技者必携抜粋）

1. 打順表（登録された選手全員を記入したもの）の提出は、その日の第1試合は開始予定時刻の30分前までに、第2試合以降は、前の試合の4回（学童部は3回）終了までに、監督と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち球審立会いのもと攻守を決定する。
2. ベンチに入れる人員は、登録されたユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番、28番及び選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格）各1名とする。ただし、監督、コーチは成人者でなければならない。
3. シートロック時の補助員としてコーチ（背番号28・29）を認める。
4. 学童大会において守備の時間が長い場合には、健康維持を考慮し審判員の判断で給水タイムを設けることとする。（この場合は、ロスタイムとして試合時間に含まない。）

(ウ) 試合のスピード化に関する事項（競技者必携抜粋）